

Handsome



自分自身の中の壁を越える為に

Handsome CONTENTS ————— September 2012 No.287

TOPICS 8月例会開催「きないや山陰」～グローバル目線から山陰の魅力に迫る～

《特集》北口県会長と素敵な県出向達／中央会OBを訪ねて 第18期ご卒会 (株)山陰経済新聞社 野口荘太郎 氏

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

8月例会開催 パネルディスカッション「きないや山陰」

「グローバル目線から山陰の魅力に迫る」 日時：平成24年8月20日(月) 場所：ホテルサンルート米子



冒頭、河津会長より、「すでに38期の活動も始まった。何事にも早目早目に取り組んで、今期の挑戦をキーワードに活動してほしい。」と挨拶がありました。続いて新入会員へバッジ授与が行われました。宮田昇新入会員と固い握手を交わされた会長の顔からは、約10年前の希望と緊張感でいっぱいだったころの河津新入会員ではなく、新入会員への期待感、そしてこれまでの経験を生かして会を引っ張っていくという「気合」が感じられました。



8月例会のメインは「きないや山陰」をテーマにパネルディスカッション形式で行われました。「国際マンガサミット」・「暑かった米子市」・「メガソーラー」など、最近何かと話題の多い山陰を、グローバルな

視点からビジネスチャンスを探りかけに新役員が企画しました。パネリストにはDBSクルーズフェリー社 日本支社長 李 峻萬(リ ジュマン)氏、株式会社ニチド 代表取締役 ドアル・アリ氏、鳥取環境大学経営学部 講師 付 馨(フ ケイ)氏の3名をお迎えし、それぞれの立場から山



陰についてお話いただきました。

パネラーから山陰の印象について質問されると、パネリストらは「自然が美しい」、「観光スポットも多く観光地に最高!」との回答があり、我々としてはうれしく思いました。しかしながら「宣伝(PR)」不足とのお言葉もいただき、国内のみならず「海外」へ向けた「宣伝(PR)」活動の強化という課題も見えてきました。

また、日本の教育やビジネスについての話題では、パネリストからは「積極的に行動するべき」、「まずやってみるべき」というアドバイスをいただきました。また、日



本の学生について、付氏は「好奇心が足りない」、海外研修などのチャンスなど生かして「語学」や「他国の文化」にもっと目を向けてほしいとのアドバイスもいただきました。



今回、あらためて山陰の素晴らしさと今後のビジネスチャンスを実感できた例会でした。最後に、パネリストの皆様、貴重なお話しありがとうございました。

例会後の二次会ではトライアスロンの慰労会が開催され、実行委員長、各部長からのお礼のご挨拶があり盛大に盛り上がりました。

我々もこの素晴らしい山陰を盛り上げていきます! 「きないや! 山陰!」「やらないや! TSC!」。(記事:高野)

例会を終えて... リーダー 上田委員長



8月例会を終えて正直ホッとしました。8月例会のリーダーの命を受けてはじめての頃は、不安と悩みばかりで、何からしたらいいのかも分からない状態で、後藤副会長・竹ノ内専務理事・正副委員長には多大なご迷惑をお掛け致しました。

今この原稿を書きながら「例会を作るのは本当に大変だったな」と思い返します。委員会活動もそうですが、中央会の会員の会費と貴重な時間を預かる例会が、価値ある物にも無駄なものにもなってしまうという、すごいプレッシャーを感じていました。

しかしそんな私を正副委員長に支えていただき、副会長と専務理事が要所を締めて下さったおかげで、会員の多くの方に良かったと言っていただける例会を作る事ができました。

8月例会は今後の7年間の中央会活動に「自信と勇気」をもらった、いい経験でした。

本当に不甲斐ないところばかりでしたが、いい経験でした。

本当にありがとうございました。

特集

北口県会長と素敵な県出向達



県出向専務理事 桑本 功一

県出向専務理事の桑本です。一年間宜しくお願いします。

今年は県青中も『挑戦の年』だと考えています。今までの事業を踏まえながら、さらにもう一歩先へ行くために、試験的な事業を多く行う予定です。

専務理事として、より実になる、入ってよかったと思って頂ける中央会となるべく、県出向理事の方々を支え、いいものを作りたいと思います。その結果、ひょっとしたら失敗に終わる事業もあるかも知れませんが、その失敗を恐れず(もちろん成功するよう最善の努力をします)、前へ進んで行きたいと思えます。

会員の皆さんにはいろいろとお願いすることがあると思いますが、『西部はひとつ、県はひとつ』と考え、面倒くさいと思わず、『県の事業に行けば何かがある!』と思って事業にご参加ください。宜しくお願いします。



県出向理事 長谷川 洋司

第38期県出向理事を担当させていただきます長谷川です。今期は北口県会長のもと西部地区が幹事団体でもありますので、県中央会の活動を盛り上げ、「同志一丸」のテーマの通り、東・中・西部の会員同士の交流が盛んになる事を目標に頑張りたいと思います。

それには会員の皆様が県中央会の事業に積極的にご参加いただく事が必要不可欠と考えています。

意義ある事業が開催できるよう、桑本県出向専務理事を中心に各地区の県出向理事の皆さんと共に、知恵を出し合いながら事業計画を進めております。お忙しいとは思いますが、多くの会員の皆様のご参加をお願いすると共に、微力ではありますが全力で頑張りますので、今年一年どうぞ宜しくお願いいたします。



県出向理事 小椋 崇永

38期県出向理事を務めさせていただきますことになりました、小椋崇永です。よろしくお願いたします。

平成13年10月に入会させていただき、平成19年33期には委員長、このたび県出向理事までさせていただきますことになり誠に光栄であります。そしてこの場をお借りしまして、皆様に感謝申し上げます。なにぶん力不足な所がございますが、スローガンであります「同志一丸」のもと北口県会長の力になれるよう、微力ながら一枚の岩になりたいと頑張っていきたいと思えます。皆様ご協力よろしくお願いたします。

なにぶん仕事の都合上、時間がぎりぎりなるかと思いますがどうぞ宜しくお願いいたします。



県出向理事 内田 和也

第38期県出向理事を務めさせていただきます内田和也です。

入会し13年目を迎え、初めて理事という役職に就かせていただきました。自分にこんな大役が務まるのか不安ですが、西部のテーマが「挑戦」なので、県出向理事に「チャレンジ」(中部のテーマ)していきたいと思えます。また、北口県会長が掲げられた「同志一丸」を目指し、東部・中部・西部が力を合わせて会員の皆様が楽しく交流ができるように「愛」(東部のテーマ)をもって頑張っていきたいと思えます。一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

みんな頑張らいた!



県出向理事 田中 健雄

今年度、県出向理事を拝命いたしました田中健雄です。どうぞ一年間、よろしくお願いたします。

県では、情報委員会委員長を務めさせていただきます。はばたき発刊の作成準備が主な業務となります。「同志一丸」のスローガンのもと、今年度行われる県事業と北口県会長の思いをしっかりと形にすべく、微力ながら全力を尽くす所存でございますので、ご協力よろしくお願いたします。

委員長すら経験のない若輩者が、県出向をさせていただきますことに感謝しながら、謙虚に一年間取り組んで行きたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。



県出向理事 今川 圭一

県出向理事を務めさせていただきます今川です。

今年は西部地区が幹事ということもあり、並々ならぬプレッシャーを感じつつ、各事業に取り組んでいきたいと考えております。

主な仕事は、他地区との交流活動を通して、各地区でのオープン例会により多くの会員を斡旋することです。本年度は「ビジネス交流」に特化し、地区例会を「県の事業」として視察・参加することにより、他地区の活動及び例会の仕方、また例会内容を学び、地区に持ち帰ると共に会員相互の交流とスキルアップを狙うことが目的です。会員の皆様には都合を付けて頂き、多数のご参加宜しくお願いします。



県出向監事 竹中 和孝

第38期県出向監事を務めます竹中和孝です。「同志一丸」の御旗の下、監事役としての立場から北口県会長を支えていきたいと思えます。

一年間の大役に全身全霊を賭けて邁進する所存です。皆々様の応援賜りますようお願いいたします。

県出向レポート

県出向専務理事の桑本です。県出向レポートの第1回を飾る今回は、初回という事もあり、今年度の事業の今までとの違いと目的について再度ご説明しますね。

今までの鳥取県中小企業青年中央会(略して県青中)の事業は、多くが懇親(レクリエーション、懇親会等)と勉強(委員長交流会、経営研修会等)に主眼を置いたものでした。今年度は『より実益のある事業』を目指し、事業をすることが目的ではなく、その事業で何が得られるかをきちんと考えて事業計画を立てています。

まず直近9月に行われる委員長交流会は、委員長同士の横の繋がりの強化だけでなく地区を越えてのビジネス連携ができないか検証します。また、他地区のオープン例会視察を行い、例会運営の方法や例会自体を学びます。そして、締めくくりには県青中あげての会員企業同士のビジネスマッチングが行えるイベントを企画し、地区を越えて仕事の幅を広げられる場の提供をしたいと考えています。ご期待ください!

次回は、数時間で3役会から役員会、委員会まで行ってしまふ、知られざる(過去県出向の方はご存じですが)県青中の会議について切り込んでみたいと思えます。

(県出向専務理事 桑本 功一)



中央会OBを訪ねて

（株）山陰経済新聞社 代表取締役
野口 荘太郎OB（第18期ご卒会）



「TOP記事を書いている時が一番楽しいね」と語る野口OB。経済と文章を書く事が好きで、昭和54年に単独で起業された（株）山陰経済新聞社は、今年で創業35年になります。創業当初は山陰経済新聞と平行して、「山陰ジャーナル」という山陰初の生活・求人情報誌を発刊しました。これは現在で言うところの企業タイアップ型のいわゆるフリーペーパーであり、まさに現在流通しているフリーペーパーのひな形を作ったパイオニアでもあるというから驚きです。

「経済」という角度から、あらゆる出来事に対して自分なりに切り込みを入れることをポリシーとし、現在は経済の知識を生かして一般参加の有料企業セミナーなどを独自で開催するなど、精力的に活動される姿は行動力に溢れています。「これからはもっと厳しい時代になる。地域企業の事業再生こそが今後の課題」と社会情勢を危惧し、「人助けこそ自分助け」の精神のもと、社会貢献を目的としたセミナー開催に取り組んでおられます。

野口OBは「最近の若い人は自己表現をしなくなっている」と、今の時代変化の流れを強く感じておられました。お話によると在籍当時の中央会には、今でこそタブーとも言える市長選挙戦に提言をあげたり、それについて討論し合うなど、自分の思想を貫く気概があったそうです。「今は誰もが皆『右へ倣え』で、自分のポリシーを持つ人間が少なくなったよね」と語られるその表情に、一抹の寂しさを垣間見ました。

過去に新聞のスタイルについて「経済以外のモチーフも取り上げてみてはどうか」など、周囲からの提案や意見もたくさんあったそうですが、「周りに左右されず、最終的には自分を信じる事が大切」とご自身の意思を貫き、地域経済に根差した記事を書くことにこだわっているそうです。

世の中に起こる出来事は、誰の関心も得られなければニュースにすらなりません。そういった出来事を「経済」という視点から捉え、事実を明確にした上で、報道する事を誇りとしておられる野口OB。「時代にあったものは何なのか、読者の欲している情報はこういったものなのか」その解答の正当性をマーケットとの対話から見出すことこそが、野口OBの「らしさ」だと感じました。

中小企業にとってはより厳しい時代に向かう今、企業セミナーを通じて「困った時には初心に立ち返り、基本に忠実になる事が重要であると伝えたい——」

そう語る野口OBの姿勢から多くの学びを得られたと思います。

（記事：濱澤・生田）

気になるアレ覗いてみた

今月は、九月担当例会をされる政治行政委員会を訪ね、古谷委員長に「災害図上訓練」（※以下DIG）についての面白さ、大切さを伺った。

「東日本大震災を受け開催された昨年の『地域防災フォーラム』に続き、「自分、そして地域のため」に何が出来るかを検討しました。」と古谷委員長。

「DIGとは、自分の住む街を題材に、実際に起こりうる災害を想定し、避難拠点や経路、火災や建物倒壊の可能性を挙げていく手法であり、これにより、いざという時に備えて何が必要か明確になる。」とのこと。

お話の後、実際に流通町をモデルに行われたシミュレーション地図を見せて頂いた。すると「避難拠点に最適」と思われていた消防学校が、実際には使えなかったり、老朽化による倒壊のため、高架道路が避難経路にならなかったりと、想定と現実との間に大きなギャップがあることに驚きを覚えた。

机上での賑やかな議論のせいか現実的な緊迫感が少なく、若干不謹慎ではあるが『結構楽しそうだな』という感想を持った。

大人数で話し合えば様々な意見が飛び交う。ぜひ皆さんにもご参加いただき、あらゆる可能性を想定して、万が一の際には一体何が必要なのかを「楽しく」考えて頂きたい。



（記事：桑本）

オールジャパンジュニアトライアスロン伯耆ボランティアに参加して

平成24年8月19日（日）伯耆町総合スポーツ公園に於いて、第18回オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆が開催されました。昨年に続きボランティアとして参加しました。当日はすごくいい天気で、まさにトライアスロン日和と云える一日でした。

朝6：30分に受付を済ませ、集合場所へと向かうと、私の係はスイムへと向かう選手の点呼・準備またウォーミングアップを担当する部署でした。コースへ出る前の選手は緊張しつつも皆やる気に満ち溢れ、素晴らしい表情で出番を待っていました。

私は主にウォーミングアップを担当していましたが、スムーズに行ってくれ、気分はすっかり体操のお兄さん(?)でした。選手たちがこの日の為に猛練習をして、相応のコンディションにしてきたことを思うと、尊敬の念を抱きました。

出番を終えて帰ってきた選手たちは、悔しがったり、喜んだり様々でしたが、皆一様に達成感溢れる表情でした。一生懸命な姿、表情に感動を覚え、自分自身も達成感がありました。選手たちに怪我もなく、無事に終わることができ、安心しました。



のちにこの中の選手たちが皆生トライアスロンに出場し、活躍してくれることを期待して帰路につきました。

皆さん暑い中本当に疲れた様でした。来年もぜひ参加したいと思います。（記事：木嶋）

はじめての例会



皆様初めまして、新入会員の宮田昇です。「8月例会」私にとっては初めての例会参加です。大勢の先輩会員とお会いできるこの機会を非常に楽しみにしておりました。

例会当日、河津会長よりバッジを授与いただき、大変感激しました。私のとても緊張した拙い挨拶の後、三名の外国人講師による「きないや山陰」のパネルディスカッションが始まりました。異国の地での奮闘されている話は、どれも興味深かったです。

先輩会員とは、出来るだけ名刺交換や挨拶をさせていただきました。「おう、一緒に頑張らいいや」「期待してるで」などあたたかい言葉を掛けてもらいました。

これから、鳥取県西部中小企業青年中央会の一員として頑張ろう、と決意を新たにしました。8月例会でした。

会長ぼろ！



先月の8月にロンドンオリンピックが開催されました。皆さんもご覧になられたと思います。私も寝不足に耐えながら、メダル獲得を目指して賢明に戦っている日本代表を毎日のように応援しておりました。

今回の日本はメダル38個と今までで最高の結果となりましたが、大会終了後の各選手のインタビューを聞くと、どの選手も現状に満足せず、常に挑戦に取り組んでこられたと感じました。苦手なことにも取り組み、常に挑戦していくことで、成長や進化をされたのだと思いました。

第38期西部青年中央会も挑戦をキーワードに活動して頂いております。進化をする為には必ず挑戦が必要だと思しますので、1年間かけて挑戦に取り組んでください。そこに、今までにない発見や気付きがあると信じています。

(「なう」とは？:英語「now」が語源。現在進行形の意。)

中央会徒然

長田副会長

入会してから、自分の中で「1年頑張ったら次の年は休養する」をポリシーにして中央会生活を送って来た私ですが、近年そのポリシーが崩れてしまい昨年に引き続いて副会長をさせてもらっています。

昨年もそうだったのですが、しっかり副会長職をこなせているのか今でも心配になります。入会当時や副委員長・委員長をさせてもらった期の担当副会長の方々に比べると、まだまだ自分は思っています。近年は副会長の人数も増え、担当する委員会は1副会長1委員会となりました。しかし、当時は一人の副会長が最低でも2委員会もしくは3委員会と複数の委員会を受け持っておられましたので、当時の副会長はさぞかし大変だったであろうと考えています。それに比べると今の私達はずい分と楽をさせてもらっている気がしていますので、その分もっと気合を入れて委員会(委員長)を、また会長をサポートして行かなければならないとも思います。

中央会も残すところ後2年弱、今までのポリシーは終りにして、今期の副会長職を全うしたいと思っています。

8月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会委員会

平成24年8月8日(水) 19:00~ 米子ニューアーバンホテル

議題/・役員会報告

- ・ハンサム、TV番組、チラシついて
- ・映像作成講座 講師:山陰ビデオシステム 本池俊介氏

政治行政委員会

平成24年8月7日(火) 19:00~ 米子コンベンションセンター

議題/・役員会報告

- ・9月担当例会について
- ・「DIGの実践」講師:鳥取県消防学校 教官 森 寛之氏

チャレンジ委員会

平成24年8月7日(火) 19:00~ レストランぶどうの木

議題/・役員会報告

- ・委員会方針再説明
- ・活動内容協議

教育対策検討委員会

平成24年8月9日(木) 19:00~ 米子ニューアーバンホテル

議題/・役員会報告

- ・教育に関する勉強会
- ・生き抜く力とは?を考える 他

道州制問題検討委員会

平成24年8月7日(火) 19:00~ 米子コンベンションセンター第1会議室

議題/・役員会報告

- ・道州制問題に関する研究会
- ・その他

総務・40周年事業準備委員会

議題/・役員会報告

- ・総会、卒会式、懇親会の反省
- ・40周年事業について

新入会員



みや た のぼる
宮 田 昇 AB型
日本海新聞 河崎専売所 所長
新聞販売

〒683-0852 米子市河崎1730-36

TEL 29-6032 FAX 29-6032

(KT) 090-8064-4800

(EM) spirit107@sea.chukainet.jp

S46.10生

(コメント)

皆様はじめまして。日本海新聞河崎専売所の宮田昇です。中央会活動を通して様々な方と出会い、自身の成長につなげていきたいと思っております。至らない事ばかりですが、今後ともよろしくお願いたします。

今月のNice Shot!



日時と場所: 8月19日(日) 伯耆町総合スポーツ公園

第18回オールジャパンジュニアトライアスロン伯耆

撮影対象: 秋里親子

タイトル: 「微笑ましい父と子」

コメント: 秋里会員と息子さんを競技直後に激写。Aクラス総合1位という優秀な成績を収めた息子さんを、「顔色が蒼いかな、ガハハ。」と笑いながら労うお父さんです。

9月役員会報告

9月役員会が平成24年9月3日(月)米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・8月例会の開催報告
- ・9月例会開催の件
- ・10月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

9月例会のご案内

と き: 平成24年9月18日(火) 19:00~21:30

と ころ: ホテルサンルート米子

内 容: ワークショップ「DIG~災害図上訓練~」

担 当: 第38期 政治行政委員会

編集後記

OBや外部の方にもわかる質・内容と、読む気にさせる面白さ。この二つの「バランスを取る事」は、ある意味ハンサム永遠の命題です。というわけで、今期は「バランスを取る事」を学ばせて頂きます。

(広報3度目にして初の編集後記:竹谷)